

2023年6月30日

第67期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

株式会社 阪急メンテナンスサービス

貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)	2,412,278	(負 債 の 部)	858,702
流 動 資 産	2,288,835	流 動 負 債	679,998
現金及び預金	2,091	未 払 金	459,674
売 掛 金	371,585	未 払 事 業 所 税	1,813
貯 蔵 品	763	未 払 法 人 税 等	13,782
短 期 貸 付 金	1,896,814	未 払 消 費 税 等	22,111
前 払 費 用	16,382	未 払 費 用	99,656
仮 出 金	1,135	預 り 金	3,370
そ の 他 の 資 産	62	賞 与 引 当 金	79,432
		役 員 賞 与 引 当 金	157
固 定 資 産	123,442	そ の 他 流 動 負 債	0
有 形 固 定 資 産	5,910		
建 物 附 属 設 備	0	固 定 負 債	178,704
車 両 及 び 運 搬 具	0	退 職 給 付 引 当 金	168,043
器 具 及 び 備 品	5,910	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	10,661
無 形 固 定 資 産	3,433		
ソ フ ト ウ ェ ア	3,433	(純 資 産 の 部)	1,553,575
電 話 施 設 利 用 権	0	株 主 資 本	1,553,575
		資 本 金	10,000
投資その他の資産	114,099	資 本 剰 余 金	12,759
投資有価証券	336	そ の 他 資 本 剰 余 金	12,759
差入保証金	5	利 益 剰 余 金	1,530,816
繰延税金資産	113,758	利 益 準 備 金	2,500
		そ の 他 利 益 剰 余 金	1,528,316
		別 途 積 立 金	201,160
		繰 越 利 益 剰 余 金	1,327,156
合 計	2,412,278	合 計	2,412,278

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
2. 資産の評価基準及び評価方法
 - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - その他有価証券
市場価格のない株式等 移動平均法による原価法
 - (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法
 - 貯蔵品 最終仕入原価法
3. 固定資産の減価償却の方法
 - 有形固定資産 定額法
 - 無形固定資産 定額法
4. 引当金の計上基準
 - 賞与引当金 従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
 - 役員賞与引当金 役員賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
 - 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当社退職金支給規程に基づき、自己都合による期末退職金要支給額を計上しております。
 - 役員退職慰労引当金 役員及び執行役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。
5. 収益及び費用の計上基準
 - 当社は、総合ビルメンテナンス（設備・清掃・警備）業を行っており、約束した財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。
なお、顧客との契約における義務を履行するにつれて、顧客が便益を享受した時点で収益を認識しております。
 - 完成工事高の計上基準 当期に着手した工事契約から当期末までの進捗部分において成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を適用し、その他の工事については工事完成基準を適用しております。
6. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
 - 控除対象外消費税等の会計処理 控除対象外消費税は、発生事業年度の費用として処理しております。

当期純損益金額

当期純利益 104,570千円